

二〇二六年 三月一日

入学試験問題

国語

## I

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。解答は、解答用紙の

1

から

16

までにマークせよ。

文化は富の使用に関係する文化力に影響するが、実は富を生み出す能力にも影響する。どちらかといえば、文化資本といったときには富を生み出す方に関係して述べられることが多い。そして社会資本やインフラストラクチャーのソフト面としてとらえられている。富を生み出す文化の能力を、富を幸福に変<sup>ア</sup>カンする能力である文化力と区別して、誤解を生むことを承知の上で「文化経済力」とすることにしよう。日本政府が主導するクール<sup>注一</sup>ジャパン戦略は日本文化の文化経済力に期待したものであるが、海外の注目はむしろ日本文化の文化力にあるようである。そのことを認識しておかないとクールジャパン戦略は失敗に終わる。文化経済力を効率化しようとすると、文化力を低下させ、魅力を失うからである。

ハードとしての文化資本は、文化力や文化経済力を<sup>ほひつ</sup>補助する装置・しつらいであり、具体的には、美術館・博物館・図書館・劇場・音楽ホール、歴史的建造物などである。文化を少し広い意味でとらえると、学校など教育機関、研究所などの設備・建造物が含まれる。文化のとらえ方によって、道路・港湾、公共施設などの社会資本一般との線引きが難しくなる。

文化は文化力と文化経済力を生み出すが、両者には相乗と相殺の関係がある。いうまでもなく相乗効果が望ましい。文化経済学の基本公式、

人間の幸福＝文化力×経済力

を思い起こすとそのことがはっきりする。相乗効果のある文化であれば、文化力が向上すれば文化経済力も向上し、また経済力の高まりが文化力を向上させるので、人々の幸福に大きく貢献することになる。

相殺する文化の場合、文化力の向上が文化経済力を低下させると、経済力が弱体化し人々の幸福度は高まらない。身分制度、<sup>イ</sup>因<sup>シ</sup>シュウ、宗教的信条などの文化要因が経済活動に関して厳しい制約を科している場合は、このケースであって、近代以前の伝統的社会にみられる。

また文化経済力が文化力を低下させると、経済が成長しても幸福感が高まらない。幸福のパラドックスが生じる。現在社会が直面している状況である。

資本主義は生産方式からみれば、機械、設備などの資本を主力とするもので、機械主義ともいえるだろう。資本は生産可能であるので、労働や土地のように制限がなく、生産の拡大には好都合である。資本主義は経済成長をめざす資本の自己増殖システムとなる。

生産の場での機械主義は、人々の生活の場にも普及し、家事や日常生活活動も機械化される。家庭にはテレビ、冷蔵庫、エアコン、電子レンジなど電化製品があふれ、通勤、買い物、レジャーには、電車、バス、自動車を使う。生活は便利で快適になる。

家事の省力化は、大家族でいることの必要性を減じ、核家族あるいは単身世帯での生活を可能にする。家族が細分化されることは、家庭電化製品や自動車の需要を増加させることにもつながり、経済成長に寄与する。インスタント食品や出来合いの惣菜などが出回り、スーパーやコンビニで手軽に購入できるので、家事をますます手抜きできるようになる。家事が省力化できると、女性が外にでて働くのを助ける。いまでは若い世帯の共働きが一般化している。この事情は家事の機械化や外部委託を一層すすめる。

家族が細分化され世帯が小さくなることは、家計における協業の能力とメリットを奪い、子育てや介護にケン著に現れ外部への委託に頼ることになる。このように日常生活における機械化と外部委託は市場への依存を強める。日常生活での利便さ快適さは増すが、満足感や精神的充実さにつながるとは限らない。市場で調達する財やサービスは、画一的で個々の事情に則さない。俗にいう足に靴を合わせるのではなく、靴に足を合わせることになりかねない。それに市場で貨幣と交換すると必要なものが手安く手に入るが、それだけに大事にしなくなると同時に、モノづくりや子育て・介護におけるプロセスの効用を失う。幸福のパラドックス発生の要因である。

経済が成長発展するにつれて、第三次産業が産業構造の中で大きな割合を占めるようになる。これはベティ・クラークの法則として知られているが、今や先進国では八〇%以上の労働者が第三次産業に従事している。都市では優に九〇%を超えているだろう。第一次産業と第二次産業は有形の財を生産しているが、第三次産業が提供するは無形のサービスである。ポスト工業社会のトウ来<sup>エ</sup>である。

従来このサービスの分野は機械化が難しく、人間の労働に依存する割合が大きな分野であるが、エレクトロニクスの革命によって、この分野にも機械化の波が押し寄せている。輸送部門は自動運転によってドライバーを駆<sup>オ</sup>チクする。金融サービスの分野でもインターネットバンキングが店舗すら不用にする。医療や福祉の分野でもAIやロボットが活躍するようになっていく。教育の分野でもネット授業により、学校に行かなくていいようになってきている。

飲食業でもすでに注文や勘定にタブレットが導入されて、ロボットのウェイターやウェイトレスも登場してきている。そのうち風俗の世界でもロボットが登場するかもしれない。そうなると法の規制が難しくなる。スポーツの世界でもロボットの相撲やサッカーが行われるようになるだろう。サービスも機械化がすすむことで便利になりコストの削減になるのは悪いことではないが、ホスピタリティと無縁な味気のないものになってしまう可能性がある。機械への莫大な投資がなされるが人々の幸福感は高まらない。文化力の低下である。

機械化が進むことは、資本の蓄積が増加することであり、それにエネルギーや資源を投下することである。そして人間から仕事を奪うのは、人間が食べる食料を牛に食べさせて肉を得ようとするのに似ている。その上に文化力の低下で幸福感も高まらなるとすれば、人間社会の持続可能性から問題である。文化力と文化経済力がバランスをとれるように、文化資本を形成しなければならぬ。

そしてこれを達成するのに、両者のバランスが取れたある一つの特定の文化を選択しようとするのは間違いで、人間の本質に反し非現実的である。人々は多様であって、機械化された便利で快適な生活を好む人もいれば、便利快適よりも不便だ

がプロセスを楽しむスローな生活を望む人もいる。両極端の中間を選ぶ人も少なくないだろう。多様な文化の共存で全体としてバランスを取るのが望ましく、現実的である。多様な文化を共存させる制度や運営システムが人類の共有するべき最も重要な文化資本である。

(駄田井 正 『成長から成熟へ』一部変更)

注一 クールジャパン戦略・・・日本のブランド力を高めるとともに、日本への愛情を有する外国人の日本ファンを増やすことで、日本のソフトパワーを強化する戦略のことをいう。

注二 ペティ・クラークの法則・・・一般的には、ペティ・クラークの法則として知られ、経済発展に伴い、産業構造が第一次産業から第二次産業、そして第三次産業へとシフトしていくことをいう。

問一 傍線部アからオまでのカタカナ部分と同一の漢字を用いる熟語をそれぞれの選択肢の中から一つ選び、その記号を解

答欄 1 から 5 までにマークせよ。

1	ア 変カン	① 旅カン	② 互カン	③ カン謝	④ カン僚
2	イ 因シユウ	① シユウ逸	② シユウ辺	③ シユウ慣	④ シユウ納
3	ウ ケン著	① ケン微鏡	② 入場ケン	③ ケン察官	④ 冒ケン者
4	エ トウ来	① トウ高線	② 遣トウ使	③ 格トウ技	④ トウ達点
5	オ 駆チク	① 破チク	② チク城	③ チク次	④ 家チク

問一 傍線部Aに「文化経済力を効率化しようとする、文化力を低下させ、魅力を失う」とあるが、それはどうということ

か。その説明として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その記号を解答欄 6 にマークせよ。

6

① クールジャパン戦略では、日本の「文化力」に期待し富から幸福を生み出す能力に注力するが、富の量をさらに増加させる「文化経済力」を発展させなければ、海外からの投資を呼び込めないということ

② クールジャパン戦略では、富を生み出す「文化経済力」を重視するあまり、その富を幸福に変換する「文化力」がおろそかになり、日本への海外からの関心が薄れてしまうということ

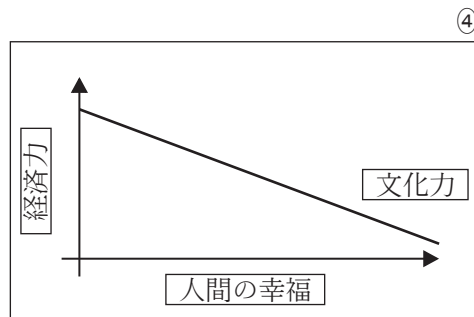
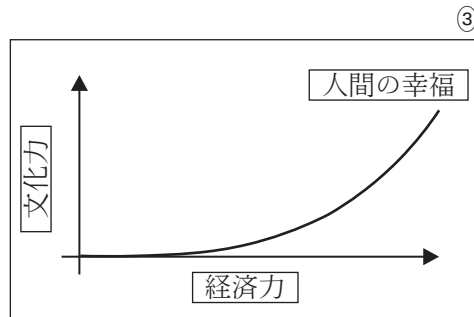
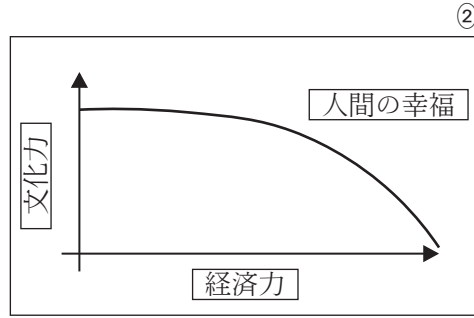
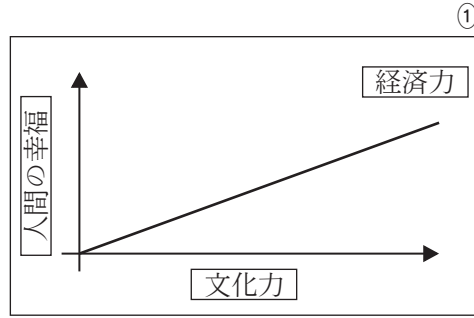
③ クールジャパン戦略では、日本の富を生み出す「文化経済力」に注目し、富とは関連しない「文化力」をもそれに追随させようとするが、結局は失敗に終わってしまうということ

④ クールジャパン戦略では、富をもたらす「文化経済力」が海外から注目されているが、日本の精神的な魅力である「文化力」をも海外に伝えなければ、その注目も一時的なもので終わってしまうということ

7

問三 傍線部Bの「相乗効果のある文化」について、筆者のいう文化経済学の基本公式をグラフにあらわすとどうなるか。最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その記号を解答欄7にマークせよ。

7



問四 傍線部Cに「幸福のパラドックス」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その記号を解答欄  にマークせよ。

- 
- ① 日々の暮らしが便利になる一方で、人々が満足感を得られない状態のこと
  - ② 経済発展を遂げて人々が豊かになる一方で、人々の幸福感がお金に左右されるようになること
  - ③ 人々が貧しさに苦しんでいるにもかかわらず、一部の人が幸福にある状態のこと
  - ④ 外部委託が進み物価が高騰したにもかかわらず、人々の満足感が保たれていること

問五 傍線部Dに「機械主義」とあるが、それはどういうことか。その説明として適切でないものを次の選択肢の中から一つ選び、その記号を解答欄  にマークせよ。

- 
- ① 資本主義のもとで、労働や土地といった限りのあるものでなく、生産設備という資本への注力によって生産を拡大しつづけること
  - ② 現代資本主義社会においては、サービス部門でさえ、AIやロボットなどの最先端技術を導入し、省力化を推し進め、コスト削減と利益の最大化を目指していること
  - ③ 人々の生活の場において、テレビや冷蔵庫といった白物家電を普及させ、移動には自動車や電車などを多くの人が使用できるようにすること
  - ④ 若い世帯の共働きを一層加速させながらも、手のかかる家事や子育て、介護などを夫婦で分担し、システム化された円満な家庭を築くことを目指していること

問六 傍線部Eに「足に靴を合わせるのではなく、靴に足を合わせる」とあるが、その具体例として最も適切なものを次の

選択肢の中から一つ選び、その記号を解答欄 10 にマークせよ。

10

① 友人の間で流行っている音楽ユニットが来日することになり、仲間はずれにされないように興味があるフリをした。

② 好みの洋服を購入してうれしかったがサイズが合わず、その服が似合う体型になろうと一念発起してダイエットに励んだ。

③ 使っているソフトウェアがアップデートされて自分のしたいことができるようになると考えたが、実際にはその機能に自分が合わせる必要があった。

④ 隣人が購入した高級車をうらやましく思ったが、素直にそれを表現できず、その車にケチをつけることで自らを納得させた。

問七 傍線部Fに「人間が食べる食料を牛に食べさせて肉を得ようとする」とあるが、それはどういふことか。その具体例

として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その記号を解答欄 11 にマークせよ。

11

11

にマークせよ。

- ① 医師が自ら診断や治療を行うのではなく、A Iにそれらの作業を任せ、そこから生じた利益を自分のものにしようとする。
- ② ウエイターやウエイトレスが歩いて注文をとりに行くのではなく、客に自席でタブレット入力させ、注文をとろうとする。
- ③ 経営者がドライバーの給与を増額させるのではなく、自動運転技術に資金を投入し、配送サービスの質を向上させようとする。
- ④ 教員が生徒に学校の授業で学ばせるのではなく、ネット授業を受けさせ、無駄を省いて知識を身につかせようとする。

問八 本文の内容について、Gさんは自分の考えを整理するため、次の様な【メモ】を作成した。各欄に入る最も適切な選択肢を一つずつ選び、その記号を解答欄 [12] から [16] にマークせよ。

【メモ】

(1) 文化経済学の基本公式…

「 [12] 効果のある文化」は、文化力とともに [13] も向上し、 [14] に寄与する



(2) 「文化資本」(ハード面)は文化力・ [13] (富を生み出す「文化」の能力)を補完



(3) まとめ…「文化資本」の形成 [15] [16] を有する人々が [16] できる社会

16	15	14	13	12
----	----	----	----	----

- ① 共生
- ② 人々の所得
- ③ 相乗
- ④ 多様な文化
- ⑤ 経済力
- ⑥ 人々の幸福
- ⑦ 成長
- ⑧ 文化経済力
- ⑨ 競争

## II

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。解答は、解答用紙の

17

から

29

までにマークせよ。

およそこれまで存在した古今東西のあらゆる民族と共同体において、カミをもたないものはなかった。信仰の有無にかかわらず、大方の人にとってカミはなくてはならない存在なのである。

わたしたちが大切にする愛情や信頼も実際に目にすることはできない。人生のストーリーは可視の世界、生の世界だけでは完結しない。たとえそれが幻想であっても、大多数の人間は不可視の存在を取り込んだ、生死の双方の世界を貫くストーリーを必要としている。

かつて人々は神仏や死者を大切な仲間として扱った。目に見えぬものに対する強いリアリティが共同体のあり方を規定していた。それゆえ、わたしたちが近代の国家や社会を考察しようとする場合、その構成要素として人間だけを視野に入れるだけでは不十分である。人を主役とする従来の欧米中心の「公共圏」に関わる議論を超えて、人間と人間を超える存在が、いかなる関係をたもちながら公共空間を作り上げているかを明らかにできるかどうか重要なポイントとなる。これまでの歴史学の主流をなしていた人間による「神仏の利用」という視点を超えて、人とカミが密接に関わり合って共存する前近代世界のコスモロジーの奥深くに<sup>A</sup>錘鉛を下ろし、その構造に光を当てていくことが求められているのである。

いま日本列島においても世界の各地でも、現実社会のなかに再度カミを引き戻し、実際に機能させようとする試みが始まっているようにみえる。二〇一三年秋、わたしは「介護と看取り」をテーマとするシンポジウムに参加するため北京を訪れた。終了後に、中国のホスピスの現状をみせていただくために万明医院という病院を訪問し、スタッフと懇談する機会をもつことができた。

万明医院では病院の内部に、「往生堂」という名称の一室が設けられ、重篤な病状に陥った患者がそこに運ばれて、親族の介護を受けながら念仏の声に送られてあの世に旅立つシステムが作り上げられていた。敷地内の別の一室では、故人の遺

体を前に、僧侶を導師としてたくさんの人々が念仏を称えていた。その儀式は数日間続けられるという。霊安室と死者の退出口を人目のつかない所に設けることによって、生と死の空間を截然と区別する日本の病院を見慣れていたわたしにとって、病院内に生の世界と死の世界が混在するこの光景は、たいへん衝撃的だった。

終末期医療や心のケアに宗教を介在させようとする動きは日本でも起きています。その代表的な運動が、東北大学をはじめ多くの大学で進められている臨床宗教師の育成である。「臨床宗教師」は、キリスト教文化圏におけるチャプレンに相当する存在で、「被災地や医療機関、福祉施設などの公共空間で心のケアを提供する宗教者」をいう。その育成講座には、仏教、キリスト教、神道、新宗教などさまざまな信仰者が参加している。

宗教者であることが基本的な資格であるが、自宗の優位を公言したり布教や伝道行為を行ったりすることは禁止されている。宗教者としての経験を活かし、相手の価値観を尊重しながら、みずからの病や親族の死などによって心に重荷を負った人々に寄り添い、看取りやグリーフケアを行うことを任務とするものである。東北大学病院緩和ケア病棟など、国公立の病院でも臨床宗教師の採用が進められている。

日本でも中国でも、現代医療のあり方に対する反省に立って、医療の現場にカミを導入しようとする活動が始まっている。最先端の科学技術が君臨する場において目に見えぬものたちがどのような役割を果たしているのか、今後の動向が注目される。

息の詰まるような人間関係の緩衝材として、新たに小さなカミを生み出そうとする動きも盛んである。一九九〇年代から始まるスピリチュアリティや精神世界の探求のブームは、そうした指向性の先に生まれたものだった。ペットブームもまた人間関係の緩衝材を求める人々の無意識の反映と考えられる。

もう一つ、わたしがいまの日本社会で注目したい現象は、列島のあらゆる場所で増殖を続けるゆるキャラである。もちろんディズニーのミッキーマウスをはじめ、動植物を擬人化したキャラクターは世界中にみられる。しかし、その数と活動量

において、日本のキャラクターは群を抜いている。これほど密度の濃いキャラクター、ゆるキャラの群生地は、地球上の他の地域には存在しない。

大量のゆるキャラが誕生しているということは、それを求める社会的需要があるからにはかならない。それはなにか。わたしは現代社会の息の詰まるような人間関係のクッションであり、ストレスの重圧に折れそうになる心の癒しだと考えている。

ミッキーとハグしたくて、震災後再開したディズニーランドを真っ先に訪れたという類の話はいくらでも存在する。精神的に追い詰められたときでも、他人に心を開き甘えることは容易ではない。しかし、ゆるキャラに抱きつくことならさほど抵抗はない。ゆるキャラとの出会いが、心に溜まった澱おりを一举に昇華注三するカタルシスとなるケースもあるのである。

現代社会におけるゆるキャラは、小さなカミを創生しようとする試みであるとわたしは考えている。この社会からカミを締め出した現代人は、みずからを取り巻く無機質な光景Dにおのいて、その隙間を埋める新たなカミを求めた。その先に生まれてきたものが、無数のキャラクターたちだった。群生する大量のゆるキャラは、精神の負荷に堪えかねている現代人の悲鳴なのである。

欧米諸国と比べれば、日本列島はいまだに自然とカミと人との連続性、対称性を強く保持する社会である。かつて死者が風になって空中を飛翔する「千の風になって」という歌が大ヒットした。道端には何を祀まつるとも知れない無数の祠ほじらがあり、野の花が生けられている。都市のここかしこに神社や祠が残っていて、祈りを捧げる人の姿がある。

東日本の各地にある草木供養塔は、山仕事を行う人々が伐採した草木を供養するために建立したものであり、針供養の行事などととも、人間と草木・無生物を同じレベルの存在として把握しようとする日本人の発想方法を反映する現象である。しかし、その日本でもカミは着実に存在感を弱めつつある。

二二世紀に生きるわたしたちは、近代の草創期に思想家たちが思い描いたような、直線的な進化の果てに生み出された理

想社会にいてるのではない。近代化は人類にかつてない物質的な繁栄をもたらす一方で、人間の心に、昔の人が想像もしえなかったような無機質な領域を創り出した。民族差別の言説や弱者へ投げかける罵倒の言葉が、いまネット上に溢あふれている。

この問題の深刻さは、それが文明の進化に伴って浮上したものだということにある。いまそこにある危機が近代化の深まりのなかで顕在化したものであれば、人間中心の近代ヒューマニズムを相対化できる長いスパンのなかで、文化や文明のあり方を再考していくことが必要である。

わたしは前近代に帰れ、ア。過去に理想社会が実在した、イ。どの時代を切り取っても、苦悩と怨嗟えんさの声はあった。いまわたしたちが生きる世界を見直すために、近代を遥かに超える長い射程のなかで、現代社会の歪みを照射していくことの重要性を論じているのである。

これまでの歴史のなかで、カミは人にとってプラスの役割だけを果たしてきたわけではない。カミが人を支配する時代が長く続いた。特定の人々に拭ぬぐいがたい「ケガレ」のレッテルを貼って差別を助長したのもカミだった。カミの名のもとに憎悪にくしみが煽あおられ、無数の人々が惨殺されるといふ愚行が繰り返されてきた。それはいまも続いている。

人類が直面している危機を直視しながら、人類が千年単位で蓄積してきた知恵を、近代化によって失われたものをも含めて発掘していくこと、それこそがいまわたしたちに与えられている大切な課題なのではないだろうか。

（佐藤 弘夫 『日本人と神』一部変更）

注一 チャプレン・・・学校、病院、軍隊など、教会以外の施設や組織で活動する聖職者。

注二 グリーフケア・・・身近な人と死別してグリーフ（深い悲しみ）に沈んでいる人がそこから立ち直れるよう、そばにいてケアすること。

注三 カタルシス・・・広い意味で、日常生活の中で抑圧されていた感情が解放され、快感がもたらされること。

問一 空欄   に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その記号

を解答欄  にマークせよ。

- ① ア といっているのである      イ ともいっているのである
- ② ア といっているのではない      イ といっているのである
- ③ ア といっているのである      イ といっているのではない
- ④ ア といっているのではない      イ などといっているのではない

問二 傍線部 A に「錘鉛を下ろし」とあるが、それはどういう意味か。その説明として最も適切なものを次の選択肢の中か

ら一つ選び、その記号を解答欄  にマークせよ。

- ① どっしりと腰を据えること
- ② 探りを入れ計測すること
- ③ まっすぐに狙いを定めること
- ④ 穴をあけ見通しをよくすること

問三 傍線部Bに「截然と」とあるが、それはどういう意味か。その同義となるものを次の選択肢の中から一つ選び、その

記号を解答欄 19 にマークせよ。

19

- ① 違いがはっきりするように
- ② 断固としてゆるぎなく
- ③ 一時的にとりあえず
- ④ 一方的な思い込みをもって

問四 傍線部Cに「現代医療のあり方に対する反省に立って、医療の現場にカミを導入しようとする活動が始まっている」

とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その記号を解答欄

20

にマークせよ。

20

- ① 医療技術だけではどうしようもない病状を、超自然的な信仰の力を借りて改善しようとする動きがみられる。
- ② 医療が進み過ぎて一般の理解が追いつかない中で、原初の素朴な民間療法に帰ろうという声が上がっている。
- ③ 身体的な面ばかりを重視してきた医療に対して、精神面も考慮しようとする宗教的な要素が取り入れられるようになってきている。
- ④ 医療の進歩によるおごり高ぶりが著しくなってきたので、超越的なものに対する謙虚な気持ちを取り戻そうとしている。

問五 傍線部Dに「無機質な光景」とあるが、その説明として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その記号を

解答欄 21 にマークせよ。

21

- ① 炭素を含まない無機化合物が織りなす化学的世界
- ② 生命感のない無味乾燥な物質的世界
- ③ 機械化されひたすら効率的に動く合理的世界
- ④ 自然からかけ離れた表層的な人工的世界

問六 本文中の著者のいう「カミ」とはどのようなものと考えられるか。その説明として適切でないものを次の選択肢の中

から一つ選び、その記号を解答欄 22 にマークせよ。

22

- ① 目には見えないが現実性を帯び、生の世界と死の世界をつなぐ仲介者
- ② 何かとストレスの多い人間関係を緩めてくれる、想像上のキャラクター
- ③ 神仏に代表されるように、権威をもって公共空間を束ねる社会的象徴
- ④ 時にありもしない偏見を作り上げ、この世に差別や憎悪を生み出す妄信

問七 本文の内容に合致するものを次の選択肢の中から一つ選び、その記号を解答欄 23 にマークせよ。

23 ① カミという概念を、人間社会に果たす役割という観点からでなく、そもそも人間社会を構築している本源として見ていくほうがよい。

② カミという前近代的な価値観は今も根強く残っているが、それをわれわれは現代流に作り変えて新しくしていかねばならない。

③ カミはゆるキャラを生み出したことからわかるように、厳格な存在ではなく、もやっとした曖昧なところに美点があり特性がある。

④ カミは差別や憤懣かんまゑを生み出す原因となってきたので、こうした性質を払拭し純粹に善なるものにするのが平和な時代には望まれる。

問八 本文を解釈した次の文章を完成させるよう、各欄に入る最も適切な選択肢を一つずつ選び、その記号を解答欄

24 から 29 にマークせよ。

健全な人間だけを中心とする近代社会は 24 をもっぱら重んじ、 25 を疎んじてきた。またそれは、人間に 26 を強いてきた。この状況を打破するためには、前近代にあったカミという 27 を復活させる必要がある。それはこの社会のいわば 28 として機能し、 29 のゆがみを正す動力となってくれるだろう。

- |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|
| 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 |
|----|----|----|----|----|----|
- ① 超越的な存在
  - ② 死
  - ③ 差別的な敵対関係
  - ④ 内部
  - ⑤ 生
  - ⑥ 想像上の存在
  - ⑦ 外部
  - ⑧ 閉塞的な緊張関係
  - ⑨ 宗教

